

カミノトピックス

教育の発展にも多大なるご尽力をいただいています！

『一般財団法人 空港整備協会』様は空港周辺の環境対策や調査、国が管理する空港の駐車場を運営している団体です。空港と地域の共生を図るため、空港周辺の安心・安全に取り組んでいます。具体的には、「空港周辺環境対策事業」として、空港周辺地域における騒音等の障害の防止、軽減及び住環境の改善のために地方公共団体の要望に基づき種々の事業に助成等を行っています。また、「空港地域共生対策事業」として空港周辺地域の共同利用施設等のバリアフリー化や地域住民、児童、生徒の利用施設への資機材の整備に対して助成を行っています。

今回は、この「空港地域共生対策事業」で納入された物品が実際どのように利用されているのか取材してきました。

●千歳市立千歳中学校 吹奏楽部顧問 飯田教諭

Q：今年購入された物品と空港整備協の活動についてお聞かせください。

A：今年度は、22年ぶりに更新されたドラムセットと、フレンチホルンを購入させていただきました。特に、ドラムセットについては、2年前に同事業で購入させていただいたティンパニと合わせて、市内及び石狩管内規模の演奏会でも、参加団体共通打楽器として使用させていただいており、本校はもとより他団体の演奏にも活用されています。

吹奏楽部の活動には、多額の予算を必要とします。公立中学校の楽器を維持・管理するには、市や学校の予算だけでは足りず、部員の各家庭に「部費」という形で負担してもらっている厳しい現実があります。その点で、この事業による助成は、私たちの活動を支えて頂ける大変ありがたいもので、感謝しております。

●千歳市立第二小学校

A：通常の配当予算では購入が難しい高額な備品を計画的に購入できるため、非常に助かっています。

昨年来、電動断裁機の不具合で教育活動に支障がでていましたが、助成により今年度購入することができ、教材プリント等の作成に大いに役立っています。

このように、助成を受け物品を購入された教育現場のみなさんは心から感謝していらっしゃいました。

この他にも公共施設へ健康器具や放送設備等を整備していただいたり、スロープや手すりを設置していただいたり、長年に渡り多大なご支援をいただいているながら、その事業内容を紹介しきれていなかったり、購入いただいた資機材がどのように利用されているのかといった部分がうまくお伝えできていないように思っていたので今回このような記事を書かせていただきました。長年のご支援に深く感謝すると共に、地域の発展のために当社もより一層お役立ちを誓う今回の取材となりました。（談：SINKA・国府田）



石狩管内規模の演奏会でも活躍です！



↑ 断裁機・学校の予算では購入出来ない備品も
丁合機・事務処理の負担軽減に大助かり →



創立60周年記念事業に参加しました

9月14日に『千歳市社会福祉協議会創立60周年記念事業ふれ愛デーチャリティパークゴルフ交流会』が開催され、弊社から4人が出席させて頂きました。

明け方は雨が降り、開催もあやふまれ競技開始当初までは多少雨が降りましたが、その後は晴れて気温も上がり爽やかな中でプレーすることが出来ました。競技は18ホール・36ホール、1日自由開放にも大勢の方々が参加され、今年は千歳市社会福祉協議会様が創立60周年の記念大会ということもあり、180名近くに参加があり120名のボランティアのご協力のもと大会も盛り上がり、管理が行き届いたコースで私どもがプレーさせて頂くのは勿体ない気もしました。お蔭様で生涯初のホールインワンも経験させて頂き、社員4人もお土産や食事まで頂き申し訳ないくらいでした。競技終了後は、フラダンス・民謡の発表会もあり楽しませて頂きました。できれば来年も参加させて頂きたいと思います。

（談：W.F・柴田）



コース内の池に蓮の花
が・・・
癒される空間でした



カ示理事長のご挨拶



カミノのプロゴルファーたち(!?)

今回ご紹介するのは、北広島市中央にある「東部さくら眼科医院」様です。お話を寺井高子院長に伺いました。寺井院長は、大学を卒業後、道内各地で診察し、平成6年に現在の病院を開業されたそうです。病院は、月、火、金曜日が9:00~12:00、14:00~17:00、木曜日が9:00~12:00、14:00~18:00、土曜日が9:00~12:00、日曜日、祝日が休みです。毎週水曜日には、地域医療の観点から他の病院の患者さんを往診しているそうです。

病院の待合室から見える庭には、開業時に院長のお父様が、院長のお好きなソメイヨシノを「サクラの花を患者さんに見て楽しんでもらい、病気に対する不安を少しでも和らげることができれば」との思いを込め1本植え、院長も医院の名前に「さくら」をいれたそうです。平成17年には、院長のお父様がサクラの木を、「数年後にはサクラでいっぱい、名前通りの医院になってほしい」と10本植えたそうです。その他、サクラ色のソファ、畳を使用したベンチなど、「患者さんが少しでも治療に専念してもらえれば」と、細部にわたって色々と配慮しているそうです。北海道各地をお仕事やプライベート等で行かれ、サクラが大好きな寺井院長に、とっておきのサクラの名所をお聞きしました。「函館の五稜郭公園」と「松前城」だそうです。

今回、取材させていただき、今まで以上に医院、院長のことをたくさん知ることができ大変勉強になりました。これから北海道も紅葉シーズン本番を迎えますが、来春には、機会があれば院長のサクラの名所へ行けたらと思いました。ちなみに紅葉の名所は「大雪山系旭岳」だそうです。(談：W.F・坪井)



住所：北広島市中央5丁目1-3 Tel.(011)373-4100



待合室のソファも「サクラ色」



窓からは春には満開のサクラを見ることが・・・

51 期を迎えて思うこと

創業して55年の時を刻むことができました。

新しい期を迎えるたび過去を振り返り、積み残した未達成をどう新しい期に盛り込むか、またどうそれらのことを展開するか試行錯誤が繰返されています。そのたびに私を含む役員の方の力不足と心の甘さを知らされます。

経済と市場のパイの縮小はますます厳しさを増幅。ここ数年企業としての存在意義を自己に問いつつ、過去をしっかりと検証することを怠らず、お客様の必要とする企業像を求め改革にそして改善に社員共々取り組んでいます。世の移り変りはもちろん変化するスピードに取残されないよう必死に社員たちの経験と知恵の集積そして行動の質の向上をめざし努めてきたところです。

おかげさまで10月から51期の事業年度が始まります。あらためて

あらたな提案「お客様の未来を創造して」—今まで以上に価値あるお付き合いを目指して—

をモチーフにチームカミノはあつく熱く燃える所存です。

私たちは今までも一年一年、時の移り変りにスライドして生き方も変えてきました。51期がどんな一年になるか期待と不安が交錯しますが結果は誰も見えていません。期の終わりの2014年9月には、こうゴールを迎えたい、こうなりたいという熱く強い思いがあります。そのためにも51期のスタートに際し、毎月の経営戦略会議などを通して沢山の情報と検証を全社員が共有しながら行ってきました。時には厳しく、時には激しく意見の対話を積重ねながらいつもチャレンジャーという意識で取り組み経験をしてきたつもりです。今期は、その結果を分析してベースにしっかりと組込んだ事業計画を立てることができました。一人一人の社員がその明確な指標を自分自身の目標と定め、顧客皆さまに真に役立つ情報発信とそれらに合致する高い行動力を約束するものです。地域のオフィスプランナーとしていつも責任と信頼、そして必要とされる存在でいたいと願っています。役員・社員心ひとつに日頃の皆様のご愛顧にしっかり応えます。倍旧のご支援よろしくお願ひ申し上げます。

2013年9月

株式会社 カミノ
代表取締役社長 青木 昭弘



2013年9月30日 VOL.99

発行元：(株)カミノ

TEL：0123-23-4255 / FAX：0123-24-1381

e-mail：kamino@kamino.co.jp

Kapass (カパス) 店も10月2日より新富本社にてリニューアルオープンします。オフィスに必要な商品からごんなのあつたり良いなあと商品をご用意してお待ちしております。是非お立ち寄りください

